

食と農林漁業の食育優良活動表彰 **企業部門**



みやぎ生活協同組合 (宮城県仙台市)

みやぎ生活協同組合の食育活動

よりよい食の環境づくりのために、安全・安心な食品をバランスよく、そして楽しく食べることを子どもと一緒に学んでいく運動を進めています。

県内の産地の応援・交流、被災地を支援

メンバー(組合員)が、生産者や産地を応援するため、1970年から、産地見学や産地での体験を毎年実施し、生産者との交流を進めています。震災後は、応援計画を作成し、被災地訪問を行っています。

農業加工調理体験

大豆・お米はどのように味噌の原料になるのか、大豆とじゃがいも、かぼちゃ、にんじんなどの野菜作りも含めて、一年間産地で種から育てる体験をします。

県内産品の学習塾

県内産の農畜水産品の生産方法、放射性物質対策などについて、生産者を招いて説明してもらう学習会を開催しています。

5 A DAY食育体験ツアー

小学生の食育を応援する「5 A DAY食育体験ツアー」をファイブ・ア・デイ協会との連携のもと、2005年から実施しています。



みやぎ生活協同組合
理事長 齋藤 昭子

みやぎ生協では、生産者と組合員との交流活動を産直活動の柱にし「顔とくらしの見える産直」を産消提携団体の皆さまと一緒に進めてきております。今回の受賞は、産消提携団体・ファイブ・ア・デイ協会のご協力により受賞できたものと感謝申し上げます。ありがとうございます。

[応募者] みやぎ生活協同組合
[事業内容] 店舗事業・共同購入事業・文化サービス事業・住宅共済事業

ファイブ・ア・デイ協会

野菜・果物を中心としたさまざまな活動を推進する非営利団体。
日本の5 A DAYは「1日5皿分(350g)以上の野菜と200gの果物を食べましょう」をスローガンに食育活動を推進しています。